

家事シェアで大切な言葉『ありがとう』



みんなで家事シェアをするためには、家族が家事をしてくれた時に、お互いに『ありがとう』と感謝の言葉を伝えることが大切です。

また、「こういうところがよかったよ」「次はこうするといいかな」と話し合うなど、家族でコミュニケーションをとることも、うまく進めるためのコツの1つです。

家族が自分のためにしてくれたことには、「当たり前」と思わずに、素直に『ありがとう』と伝えましょう。

家族はチーム みんなで家事を楽しもう！

家事は、家族みんなの仕事で、「誰がやる」という決まりはありません。「お母さんだから」「お兄ちゃんだから」と考えず、みんなで協力し合うことが大切です。お母さん、お父さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、おばあちゃん、おじいちゃん、そしてあなたも、みんな家族のメンバーの一員です。

『ぼくにできる仕事はなにか？』『わたしはこの仕事がしたい！』

書いたことを見ながら、自分にできること、やってみたいことを探して、家事について家族で話し合ってみよう。



つくば市ダイバーシティ推進室

〒305-8555
つくば市研究学園一丁目1番地1
電話：029-883-1111(代表)

男女共同参画・ダイバーシティ推進NEWS

3～6年生のみなさんへ

No. 1
2024年7月発行

編集・発行：
つくば市ダイバーシティ推進室

みんなでやろう！ 家族で家事シェア



今から約20年前までは、男性が外で働いて、女性が家で家事・育児をする家庭が多くなりましたが、今は男性も女性も外で働く人が多くなりました。みなさんの家庭ではどうでしょうか？

家事は、家族みんなが快適な空間で健康に過ごせる環境をつくる、大切なお仕事です。今回は、みなさんのおうちの家事について考えてみましょう。

家事シェアって何？



多くの家庭で大人は外で働いています。子どもも、児童クラブに通っていたり、習い事に行っていたりすると家に帰るのが遅くなることもあり、家族が家で過ごせる時間は限られています。家事シェアとは、家族ひとりひとりが状況に合わせて、自分にできることを積極的にして、家族みんなで協力し合って家事を共有することをいいます。

みなさんも家事シェアをしてみませんか。

みんなはどんな家事をしている？

みなさんは家でお手伝いしていますか？2014年に行われた国の調査によると、約8割の子どもたちがお手伝いをしているそうです。(調査対象は12歳(小学校6年生))

どんなお手伝いをしているのか、トップ3を紹介します。

- 1位 部屋やお風呂などの掃除をする。
- 2位 お米をといだり、料理を作るのを手伝う。
- 3位 洗たく物を干したり、たたむ。



しら まな
調べて 学ぼう！



し ごと おうちのお仕事チェック

1. 調べてみよう！おうちのお仕事って何？



自分のおうちには「どんな仕事があって、主にだれがしているのか」を調べて、
(例)を見ながら書いてみましょう。追加するお仕事があれば、空らんを書いて
ください。

どんなお仕事？ し ごと	主にしている人はだれ？ おも ひと
(例) ごはんを作る。 れい つく	(例) お母さん
ごはんを作る。 つく	
食後の片づけをする。 しょくご かた	
部屋のそうじをする。 へや	
せんたくもの 洗濯物をたたむ。	

2. まとめてみよう！お仕事バランスチェックシート



次は、「だれ」が「どのぐらい」おうちのお仕事をしているのかをまとめて
書いてみよう！ みましよう。

(1) 家族は何人いますか？

人

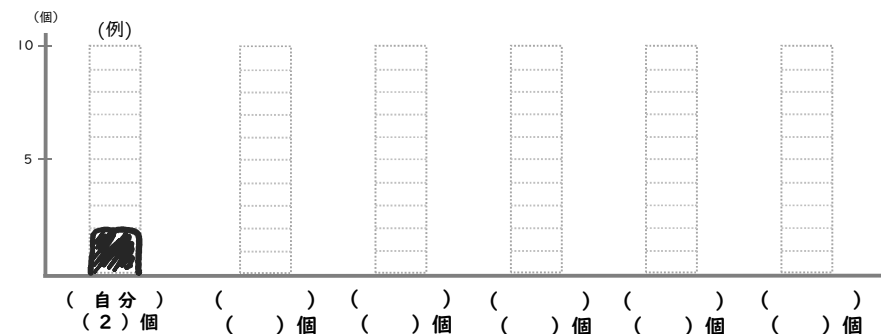
(2) 仕事は何個書けましたか？

個

(3) 家族それぞれの仕事の数は何個でしたか？

(例) ・自分 2個
・お母さん 5個

(4) 「だれ」が「何個」おうちのお仕事をしていたか、例のように棒グラフをぬって
みましょう。



(5) 今回調べてわかったことや気付いたことなどを書いてみましょう。